

したいと思っっている。保険など嫌いだ
った私が、子どもの誕生に合わせて加
入し、子どもが中学生になると大幅に
保険料を増額した。また、私の実家は
福島から遠く、年寄りが家を守ってい
るので、出張の折などは必ず宿泊先を
家内に知らせておく。そして、自分も
かわいいので、些細な身だしなみかも
知れないが、危険いっぱいの車社会の
心得として家を出る時はきれいな下着
を身につける。その他、人目に触れら
れたくない写真や手紙などは処分し、
しまっておいたりもしない。

このように羅列すると私の日常は、
いつもおどおどと不安の中で生きてい
るように思われるかも知れない。しか
し、本人はいたって楽道家の部類に入
ると思っており、明日が誰にも「ワカ
ラナイ」から今日を大事に生きている
だけなのである。

十五年間の教員生活をはなれて四年、
教育現場や生徒の実態は一年でさえ変
化をしているのに、この四年の離別
私にとって、今度は学校が未知のもの
になるような気がしてならない。

いつぞや、館長からお聞きしたこと
がある。

「この年になると、ふと自分の体が
心配になることがある」

単身赴任の館長のご自宅には、電話
の横に大きく眼鏡なしでも見えるよう
に、私の家の電話番号が書かれている。

(県立美術館主任学芸員)

高校野球に学ぶ

矢内 眞理子



暑かった七月、私の村内にある富岡
高校川内分校が、夏の高校野球県大会
で待望の一勝をあげ、二回戦に進出す
ることになり、村中どこでもその話題
で持ち切りでした。

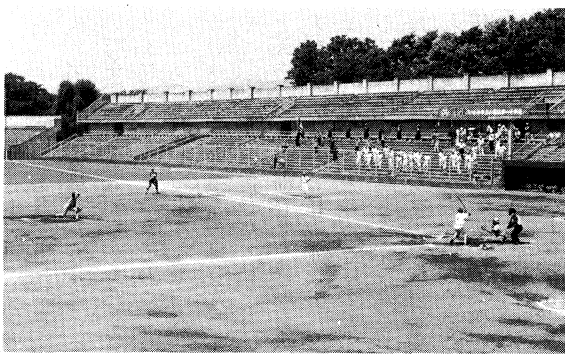
私もかつての教え子たちが出場する
というので、須賀川の球場まで出かけ
ることになりました。

応援席に着くと、そこはもう川内村
の人たちで溢れ、その熱気は球場を圧
するばかり。ここでは、村の人たちが
一体となって「我が村の学校」への声
援が沸騰しており、高校野球を初めて
見る私ですが、いつの間にかすっかり
その渦の中に入ってしまった。
はるかグラウンドに目を向けると、ユ
ニフォームに身をつつんだかつての教
え子たちが、中学時代に比べて、ひと
まわりもふたまわりも大きくなった姿
で投げ、打ち、走り活躍する様子に、

私はうれしさをこらえ切れず、つい夢
中になって声を張り上げ、好守好打に
拍手を送っていました。

選手の中に見覚えのあるあの顔、あ
の姿、彼等がつい数年前まで、中学校
の私の教室で、授業のときに目の前に
座っていたあの子どもたちなのだろう
か。たくましく成長し、躍動する彼等
の姿から思わずこみ上げてくるいいよ
うのない感動にとらわれました。

選手の中には、私の受け持ちで少々
弱気がちで進路決定の際に迷いに迷っ
たあげく、高校へ進学してからも足の
故障と手術をするという不運に会い、
大好きな野球を続けられるだろうか
と不安を訴えていたA君もいます。



野球をとおして豊かな人間性を養う

川内中学校の生徒は、自然環境に恵
まれており、村の子どもたちはのびの
びとして明朗ではあるが、都会の生の
文化に接する機会も少なく、自分の中
に潜在する能力の開発や発揮する場も
少ない現状にあります。しかし、今こ
うしてグラウンドで生き生きと躍動して
いる姿を見ていると、どの生徒にもは
かり知れない可能性を秘めているのだ
とつくづく思い知らされました。

本人の努力と、まわりの暖かい目と
適切な指導があれば、どの生徒も本来
持っている能力を出し切って、十分な
成果を上げることができ、それがまた、
次の夢へと発展していくのだというこ
とを改めて教えられたような気がしま
した。

豊かな自然から身につけた誠実な心
を大切にはぐくみながら、自信をもつ
て努力し、自己の力を出し切る若者、
他のために自分を生かすことを喜びと
する若者、わが校のめざす「未来を創
る」青年に成長してくれることを願
いながら、これからも生徒とともに確
かな歩みが続けたいと、晴れの県大会の
グラウンドで躍動するかつての教え子
たちに声援を送りながら心に誓ったこ
とです。

(川内村立川内中学校教諭)

